

【令和3年度事業評価】

静岡市上下水道事業経営協議会
「事務事業外部評価」
意見記入用紙

この様式に、各事業の評価、ご意見等をご記入のうえ、
5月23日(月)までにメールか郵送で返信してください。

【あて先】

〒420-0035 静岡市葵区七間町15番地の1
静岡市上下水道局水道部経営企画課 山下・田中
TEL:054-270-9125
FAX:054-270-9122
E-mail:suidoukikaku@city.shizuoka.lg.jp

【事務事業の評価基準】

第4次中期経営計画に掲げる事務事業について、設定した成果指標の目標値と実績値を比較した達成度に、活動指標の実績を勘案して、アルファベット小文字の「s」から「c」までの4段階で評価しています。評価の区分は下表のとおりです。

外部評価についても、下表の評価区分を参照の上、お願いします。

評価区分	数値目標があるもの	数値目標がないもの
s	目標を上回る (105%以上)	・ 目標以上の成果があがっている。
a	目標どおり (90%以上105%未満)	・ 目的達成に向けて、計画どおり成果が出ている。 ・ 実績や事業費に見合った十分な成果が出ている。
b	目標を下回る (70%以上90%未満)	・ 目的達成に向けて、ある程度成果が出ているが、目標をやや下回っている。 ・ 実績や事業費に比して成果がやや低い。
c	目標を大きく下回る (70%未満)	・ 目的達成に向けて、成果が出ていない。 ・ 事業実施の効果が認められない。 ・ 今後も成果が見込めず、事業そのものの見直しが必要。
—	実施せず	・ 実施する必要が無くなった。 ・ 政策変更等により、実施が不可能となった。

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和3年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
1	(1)	主 ① 水道管の耐震化				a	<p>活動指標は、R3計画「2.0km」に対し、R2工事繰越完成分「0.7km」を加えた「3.0km」の実施となり、活動指標は達成した。</p> <p>具体的な取組として日本平送水管布設替工事や福田ヶ谷送水管布設替工事など8件の工事を実施した。</p> <p>また、成果指標の「基幹管路の耐震管率」はR3計画の「41.2%」に対し、「40.8%」の実績で達成率は99.0%となったため、「a」評価とした。</p> <p>水道管の耐震化を進めることにより、重要な水道管の「継手の離脱防止」、「水道管の破断防止」など耐震性の向上につながる。</p>
1	(1)	主 ② 下水道管の耐震化				a	<p>下水道管の耐震化について、重要な下水道管の耐震化をR3計画「6.3km」に対し、「28.0km」の実績となった。</p> <p>具体的な取組として、下水道管の耐震化調査・設計及び工事を実施した。</p> <p>また、重要な下水道管の耐震管率はR3計画「56.4%」に対し、「61.6%」の実績で109.2%となったが、耐震診断した結果、耐震対策が不要となった管が想定を上回り、耐震対策不要延長が20.5kmとなったため、評価は「a」とした。</p> <p>下水道管の耐震化を進めることにより、巨大地震による被害が抑制され、被災時における汚水の流出防止やトイレの使用の確保などにつながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和3年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
1	(1)	主 ③ 水道施設の耐震化				a	<p>水道施設の耐震化について、R3計画どおり「4,000㎡」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、草薙配水池の貯水量を、4,700㎡から4,000㎡に減らす操作により、耐震性の確保と、R4年からR5年度に予定している、向敷地配水池配水池更新工事の詳細設計業務委託を行った。</p> <p>また、配水池の耐震化率は、R3計画のどおり「44.3%」となり、達成率は100%となったため、「a」評価とした。</p> <p>水道施設の耐震化を進めることにより、巨大地震の発生に備え、「災害時に確保できる貯水量の増大」につながる。</p>
1	(2)	主 ③ 雨水幹線・ポンプ場などの整備				b	<p>雨水幹線・ポンプ場などの整備について、雨水幹線・ポンプ場などの完了地区数は、R3計画「1地区」にR2までに未達成であった「1地区」を加えた「2地区」に対し、「1地区」となった。次に対策実施地区数は、R3計画「5地区」にR2までに未達成であった「1地区」を加えた「6地区」に対し、「5地区」であった。</p> <p>具体的な取組として、対策完了地区数は、R2までに未達成であった「小鹿三丁目」地区は、地元から当該工事区間の既設道路側溝の改修要望があり、道路改修工事との同調により遅れていたが、令和3年5月に完了した。しかし、対策完了予定であった「高橋二丁目・三丁目・飯田町」地区は、建築基準法違反が覚知されたため、是正に要した期間の令和4年1月21日から3月14日まで工事を停止した。これにより、令和3年度末の供用開始が順延したため、対策完了地区の実績値は1地区となった。次に対策実施地区数は、「押切・石川新町」地区では、雨水放流先の和田川について建設局の整備に合わせる必要が生じたため工事着手を見送っており、実績値は5地区となった。</p> <p>また、浸水対策率はR3計画「61.5%」に対し、「57.6%」の実績で、達成率は93.6%となり「a」評価であるものの、高橋雨水ポンプ場における事務事業事故は内的要因によるもので、工事遅延については改善の余地があると判断し「b」評価とする。</p> <p>雨水幹線・ポンプ場などの整備を進めることにより、速やかに雨水が排除され、浸水被害の軽減につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和3年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
2	(1)	主 ② 水道管の更新				b	<p>水道管の更新について、水道管(配水支管)の更新をR3計画「21.4km」に対し、「15.4km」実施した。</p> <p>具体的な取組として、配水支管の更新調査・設計・工事を実施した。</p> <p>また、管路の更新率はR3計画「0.90%」に対し、「0.70%」の実績で、達成率は77.8%となったため、「b」評価とした。</p> <p>水道管の更新を進めることにより、漏水による事故や、濁水の発生軽減につながる。</p>
2	(1)	主 ③ 下水道管の改築				a	<p>下水道管の改築について、下水道管の改築を「4.9km」に対し、「5.3km」実施した。</p> <p>具体的な取組として、老朽化が進んでいる処理区のカメラ及び目視調査・設計及び改築工事を実施した。</p> <p>また、管きよ100km当たりの陥没箇所数は「0.4箇所」に対し、「0.28箇所」と目標を上回り、目標達成に向けて、計画どおり成果が出ているため、「a」評価とした。</p> <p>下水道管の改築を進めることにより、管の老朽化が原因で起こる重大な道路陥没事故などの発生の抑制につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和3年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
2	(1)	主 ④ 水道施設の更新				a	<p>水道施設の更新について、水道施設(設備)の更新数をR3計画どおり「7箇所」を実施した。 具体的な取組として、駿河区中央・遠方監視制御設備改良工事ほか6箇所を実施した。 また、更新実施率はR3計画「19.8%」に対し、「19.8%」の実績で、達成率は100%となったため、「a」評価とした。 水道施設の更新を進めることにより、水道施設(設備)の更新実施率が上がり、安定給水の向上につながる。</p>
2	(1)	主 ⑤ 下水道施設の改築				a	<p>下水道施設の改築について、下水道施設の改築数をR3計画「9箇所」に対し、「9箇所」実施した。 具体的な取組として、城北浄化センターNo.5・6最終沈殿池設備改築工事や愛染ポンプ場雨水沈砂池設備改築工事などを実施した。 また、成果指標である改築実施率はR3計画「16.2%」に対し、「18.8%」の実績で、達成率は前年度までの実績の影響により116.0%となったが、R3活動指標の下水道施設の改築数実績は計画どおりであったため、「a」評価とした。 下水道施設の改築を進めることにより、経年劣化による施設の故障が原因で発生する処理機能の停止を未然に防ぎ、雨水の排水や公衆衛生の向上及び公共用水域の保全につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和3年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
2	(1)	主 ⑥ 水道管の漏水対策				S	<p>水道管の漏水対策について、R3計画「漏水調査:計12地区」に対して、「漏水調査:全20地区」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、漏水調査延長2,214kmに対し、配水管248箇所の漏水を発見し修繕した。</p> <p>また、管路点検率はR3計画「52.7%」に対し、「84.7%」の実績で、達成率は160.7%となったため、「S」評価とした。</p> <p>水道管の漏水対策を進めることにより、漏水量の軽減、道路陥没事故等の抑制につながる。</p>
3	(2)	主 ① 自然エネルギーの活用				b	<p>自然エネルギーの活用について、R3計画どおり「導入可能性検討」を実施した。</p> <p>また、再生可能エネルギー利用率は、R3計画「0.16%」に対し「0.14%」の実績で、達成率は87.5%となった。次に温室効果ガス排出低減量は、R3計画値「103t」に対し、「72t」の実績で、達成率は69.9%となった。2つの成果指標を勘案し、「b」評価とした。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和3年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
3	(2)	主 ② 省エネルギー対策				C	<p>上下水道局庁舎等で使用するエネルギー量(以下、庁舎等使用エネルギー)はR3計画「213kℓ」に対し、「204kℓ」の実績であった。庁舎内の昼休みや定時後不要箇所の消灯を実施した。庁舎内の照明器具はLED照明を採用している。</p> <p>「飲料水の年間生産に必要なエネルギー量(以下、飲料水生産エネルギー)はR3計画「8,078kℓ」に対し、「8,343kℓ」の実績であった。具体的な取り組みとして、取水・送水ポンプ等の効率的な運用に努めた。</p> <p>下水の年間処理に必要なエネルギー量(以下、下水処理エネルギー)はR3計画「12,869kℓ」に対し、「12,781kℓ」の実績であった。下水処理エネルギーでは、燃料化施設の運転や省エネ機器の導入を実施した。</p> <p>また、二酸化炭素排出低減量(平成29年度比)は、3事業合計でR3計画「214.8t」に対し、「-240.6t」の実績で、目標達成に向けて、成果が出ていないため「c」評価とした。</p> <p>省エネルギー対策を進めることにより、エネルギーの消費を抑制し、温室効果ガスの低減を図ることにつながる。</p>
4	(1)	主 ① 水道管の整備・充実				b	<p>水道管の整備・充実について、R3計画「2.7km」に対し、「2.0km」の実施した。</p> <p>具体的な取組として、送水管、配水支管の新設調査・設計・工事を実施した。</p> <p>成果指標である管路の新設率はR3計画「0.10%」に対し、「0.08%」の実績で、達成率は80.0%となったことから、「b」評価とした。</p> <p>水道管の整備・充実を進めることにより、より安定した給水環境の整備につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和3年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
4	(3)	③ 地域貢献				C	<p>地域貢献について、地域貢献活動回数をR3計画「20回以上」に対し、「12回」実施した。</p> <p>具体的な取組として、①高齢者等見守り支援1回 ②庁舎周辺美化活動3回 ③上下水道フェア(市HP代替企画)1回 ④水道・下水道施設見学会7回の計12回を実施した。</p> <p>また、地域貢献参加職員数はR3計画「1,000人以上」に対し、「660人」の実績となった。</p> <p>前年度より続くコロナ禍において、多くの対面の事業が実施できず、上下水道フェアも、当初上下水道局庁舎を会場に地元七間町名店街とも連携した取組も進めていたが、感染症拡大防止のため直前で中止となった。しかしながら、上下水道フェアについては急遽市HPを活用したオンラインの代替企画「おうちで上下水道フェア」を開催し、少しでも当初の計画を形にするよう対応することができた。また、感染拡大状況を見据え実施可能な活動をタイミングよく実施(美化活動(R2:1回→R3:3回))するとともに、感染対策を徹底し対応可能な活動(施設見学(R2:5回→R3:6回))を取入れるなど、活動の見直しも図ったが、ライフライン事業者として事業の安定運営を守るため、参加職員数を制限するなど対策を徹底したことなどから、目標には届かず達成率は、66.0%となったため、「C」評価とした。</p> <p>地域貢献を進めることにより、地域の一員として、庁舎周辺のにぎわいづくり及び安心・安全なまちづくりに寄与貢献し、きめ細やかなサービスを提供することで、市民との信頼関係の向上につながるが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と事業継続の確保の観点から、実施規模や職員参加については常に注意を要する。</p>
4	(4)	主 ② 協働事業の検討・実施				C	<p>協働事業の検討・実施について、協働事業の件数(各種事業に協力した団体数)をR3計画「10件」に対し、「8件」実施した。</p> <p>具体的な取組として、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった上下水道フェアは代替企画「おうちで上下水道フェア」として市HP上でオンラインで実施するとともに、水道週間で特別講座を実施するなど、市民等との協働事業を行った。</p> <p>また、イベント等来客数について、特に上下水道フェアは、初めて上下水道局庁舎を会場として、地元七間町名店街とも連携をしながら準備を進めていたが、開催直前にコロナ禍で中止となった。しかし当初の計画を形にできるよう、市HPを活用したオンラインの代替企画を進めるとともに、チラシ作成、報道への投げ込みや市公式SNSの活用など短期間ではあるが可能な限りの広報に努め代替企画の周知に努めた。結果としてR3計画「5,000人」に対し、オンラインでの代替企画「おうちで上下水道フェア」へのアクセス数1,006回を含めて「1,706人」となり、達成率は34.1%となったため、「C」評価とした。</p> <p>協働事業の検討・実施を進めることにより、市民の皆さんが普段の生活や活動を通して蓄えた知識、経験、身近な思いなどを反映させ、より良い事業の実施につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和3年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
5	(2)	主 ① 各種研修の充実				b	<p>各種研修の充実について、技術・事務の専門研修への派遣をR3計画「135人」に対し、「84人」派遣した。次に、契約事務・法務等の内部研修の受講をR3計画「350人」に対し、「323人」受講した。さらに、新採職員・転入者に向けた基礎研修の実施をR3計画どおり「2回」実施した。加えて、技術系職員に向けたICT研修の開催をR3計画どおり「3回」開催した。</p> <p>具体的な取組として、日本水道協会、日本下水道事業団等主催の研修への派遣、上下水道局コンプライアンス研修等の受講、上下水道局転入職員研修等の実施、デジタル技術活用研修等を開催した。</p> <p>なお、水道技術に関する資格取得度はR3計画「1.6件/人」に対し、「1.5件/人」の実績で、達成率は93.8%となった。次に水道部と下水道部両部の外部研修時間はR3計画「8.5時間/人」に対し、「5.1時間/人」の実績で、達成率は60.0%となった。さらに水道部と下水道部両部の内部研修時間はR3計画「9.6時間/人」に対し、「9.2時間/人」の実績で、達成率は95.8%となった。3つの成果指標を勘案し、目標達成に向けて、成果が出ていない部分もあることから、「b」評価とした。</p> <p>各種研修の充実を進めることにより、職員の技術力が向上し、お客さまサービスの充実につながる。</p>
5	(3)	① 新たな収入の確保				c	<p>新たな収入の確保について、長期債券購入額をR3計画どおり、水道は「2億円」、下水道は「11億円」購入した。また、新たな収入の検討をR3計画どおり「資産の有効活用検討」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、長期債券購入では、水道事業では10年満期の地方公募債を約2億円で購入、下水道事業では5年満期の電力債など計11億円で購入した。新たな収入の検討では、令和2年度に契約解除となった庁舎駐車場の有料貸し出しについて、公募条件を見直し、再公募を実施した。</p> <p>成果指標である利益収入増加額としては、水道事業では、R3計画「1,450千円」に対し、「1,304千円」の実績で、達成率は89.9%、下水道事業ではR3計画「2,601千円」に対し、「2,456千円」の実績で、達成率は94.4%となった。新たな収入額としては、再公募が契約に至らなかったため、R3計画「7,154千円」に対し、実績はなく、達成率は0%であった。</p> <p>計画値と実績値の総額による達成率が33.5%であるため「c」評価とした。</p> <p>新たな収入の確保を進めることにより、財政の健全化が図られ、安定した事業の持続につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和3年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
5	(3)	主 ② 企業債残高の適正な管理				a	<p>企業債残高の適正な管理について、水道事業の企業債借入額及び元金償還金がR3計画「38億円」及び「24億円」に対し、「26億円」及び「24億円」となった。次に下水道事業の企業債借入額及び元金償還金がR3計画「94億円」及び「105億円」に対し、「86億円」及び「105億円」となった。</p> <p>具体的な取組として、借入と償還を計画的に行い、企業債への過度な依存とならないよう適正な管理を実施した。</p> <p>また、水道事業の年度末における企業債残高は、R3計画「455億円」に対し、「443億円」の実績で、達成率は102.7%となった。次に下水道事業の年度末における企業債残高は、R3計画「1,428億円」に対し、「1,420億円」の実績で、達成率は100.6%となった。2つの成果指標を勘案し、目標達成に向けて、計画どおり成果が出ているため、「a」評価とした。</p> <p>企業債残高の適正な管理を進めることにより、次世代との負担の平準化を図り、安定した事業の持続につながる。</p>
5	(3)	④ 適正な債権管理				a	<p>活動指標の実施内容上段の「水道料金・下水道使用料の使用者に対する現住所等調査」を、R3計画「1,800件以上」に対し、「1,895件」実施した。</p> <p>中段の「受益者負担金における滞納歴が浅い人への重点督促」をR3計画「1回以上」に対し、「1回」実施した。</p> <p>下段の「受益者負担金滞納者への強制徴収」を、R3計画どおり実施した。</p> <p>次に成果指標の指標名上段の「水道料金未収金」は、R3計画「204,175千円」に対し、「197,757千円」の実績で、計画値より未収金を3.1%削減した。</p> <p>中段の「下水道使用料未収金」は、R3計画「200,656千円」に対し、「186,182千円」の実績で、計画値より未収金を7.2%削減した。</p> <p>下段の「過年度受益者負担金収納率」は強制徴収を実施した結果、R3計画「12.01%」に対し「28.50%」の実績で、達成率は飛躍的に向上し237.3%となった。</p> <p>3つの成果指標のうち「水道料金未収金」が5%未満の削減であるため「a」評価とした。</p>

≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和3年度事業】≫

政策	施策	事務事業	外部評価			内部評価	
			評価	意見・要望	質問	評価	自己評価説明
5	(3)	主 ⑤ 収納率の向上				a	<p>収納率の向上について、給水停止予告通知書発送をR3計画「19,000通」に対し、「16,952通」実施した。次に受益者負担金一括納付の勧奨を、R3計画どおり「3回」実施した。次に申告書提出督促実施をR3計画どおり「1回」実施した。</p> <p>具体的な取組として、未収金発生抑制、未収金整理の推進、債権回収体制の整備・強化、広報・啓発活動を実施した。給水停止予告通知書発送について、実績値が計画値を下回る結果となった要因は、緊急事態宣言の発令により9月の給水停止予告通知書の発送中止及び、給水停止に至る前の現年催告の強化実施により給水停止予告通知書発送対象者が削減したことによるものである。</p> <p>また、水道料金収納率はR3計画「99.16%」に対し、「99.17%」の実績で、達成率は100%となった。次に下水道使用料収納率はR3計画「99.10%」に対し、「99.19%」の実績で、達成率は100%となった。次に受益者負担金収納率はR3計画「93.62%」に対し、「95.56%」の実績で、達成率は102%となった。3つの成果指標を勘案し、「a」評価とした。</p> <p>収納率の向上を進めることにより、現年度分未収金の発生抑制に伴い、収入の増加につながる。</p>

≪第4次中期経営計画 外部評価対象となっていない事務事業についてのご意見・要望・質問等【令和3年度事業】≫

※外部評価対象となっている事務事業については、別シート「≪第4次中期経営計画 事務事業外部評価【令和3年度事業】≫」に記入ください。

事務事業名	意見・要望	質問

外部評価対象となっていない事務事業については、次ページの一覧をご確認ください。

外部評価対象となっていない事務事業一覧

政策	施策	主要事業	事務事業番号	事務事業名
1	(1)		④	下水道施設の津波対策
	(2)		①	雨水総合排水計画の更新
			②	内水ハザードマップの作成・公表
	(3)	主	①	水の相互運用
(4)		①	事業継続計画(BCP)の充実・定着	
	主	②	災害時活動拠点の整備	
2	(1)		①	中長期計画の更新
			⑦	下水道管の不明水対策
	(2)	主	①	施設の小規模化・統廃合
			②	水運用計画の策定
3	(1)		①	水源涵養林の維持管理
		主	②	下水道計画区域内の整備
		主	③	水洗化戸数の増加
			④	浄化センターからの放流水質の安定的な維持
	(3)	主	①	リサイクル率の向上
4	(1)	主	②	水道施設の整備・充実
		主	③	直結給水サービスの拡大
		主	④	水質管理・監視の充実
		主	⑤	鉛製給水管の更新
	(3)	主	①	料金支払いの利便性の向上
		主	②	サービス体制の再構築
	(4)	主	①	静岡市上下水道事業経営協議会の開催
		主	③	積極的な広報活動
		④	広聴機能の充実	
5	(1)		①	機能的な組織づくり
		主	②	上下水道の資産・資源の有効活用
			③	マッピングシステムの運用拡大
	(2)	主	②	技術継承の仕組みづくり
	(3)		③	財政計画の定期的な見直し
	(4)		①	国際協力に係る情報収集と実施などの検討
主		②	広域連携の実施・検討	